

建設・都市行政について体育館建設にともなう周辺の交通問題について

基本方針は、市内外からの集客にも対応できる十分な規模の駐車場の整備をすることが示されています。

現在の体育館は、150台の駐車場が整備されています。

計画されているメインアリーナだけでも現在の体育館より大きく、サブアリーナ、武道館等も整備することで、かなりの駐車スペースが必要と考えます。

どの程度の駐車場の確保が必要と考えているのでしょうか。また、体育館や公園等への利用者による渋滞が予測されます。渋滞の起きないように対策を行う事を求めるものです。ご所見をお示しください。

総合体育館は、メインアリーナ、サブアリーナ、武道館の建設費として概算で67億5000万円を予定しています。

他市での建設事例を参考にして工事費を見込んだとのことでした。

総合体育館建設の財源として合併特例債、国費、市費の額などは、それぞれいくらになるのでしょうか。お示してください。

機能・安全を優先し、建設費の増高につながる冗費はつつしむべきです。

それぞれについて、お考えをお示してください。

体育館建設が周辺市町へあたえる影響について

新総合体育館建設は、備後圏域ビジョンの中に盛り込まれました。

備後圏域の6市2町の住民の利用を前提とした総合体育館の設置となるものです。

他の自治体の建設時期は、三原リージョンプラザが最も古く1984年、府中市立総合体育館が1994年となっています。建て替えや維持補修の必要な時期を迎えていると考えられるものです。

福山市の新総合体育館建設により、これらの施設の機能集中が行われ、他市の総合体育館の減少が懸念されます。今後の方向性をお示してください。

防災対策と総合体育館を避難場所として活用することについて伺います。

基本方針で「計画地は、大規模な地震にともなう津波や芦田川の氾濫による浸水被害を想定し、これらの災害時には、地域住民や来訪者が一時的に避難できる場所となるよう浸水レベルである浸水2.0mより、うえの高さに備蓄倉庫や一時避難スペースを設けるなど、総合体育館の高さを活用した防災機能を持たせる」とし、公園についても、災害時に避難場所として機能するよう整備するとしています。

周辺地域は、人口密集地域であり、総合体育館が避難場所として機能することは、市民の生命、安全を守る上でも重要です。

災害時に避難場所としてどのような機能を持たせるのか、その内容や規模について、市民意見を聴取することを求めます。

以上についてご所見をお示してください。

答弁<市長>

次に、総合体育館建設についてであります。

総合体育館の駐車場につきましては、公園の利用も含め、必要な台数を基本設計の中で決定してまいります。

渋滞への対応策といたしましては、外周道路の整備や前面市道の改良などの道路整備を行うこととしております。

体育館建設にかかる財源につきましては、現時点では、主に、有利な財源である合併特例債の活用を見込んでおり、本市の財政負担の軽減を図って参ります。

次に、新たに建設する総合体育館につきましては、まずは、福山市民の日常的なスポーツ活動の拠点として、また、全国レベルの大会やプロスポーツの興業等の開催に適した規模・機能を有する、備後圏域における中核的な体育施設として、整備するものであります。

防災機能に対する市民意見の聴取につきましては、これまでも、公募による市民代表を含んだ「福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会」での議論を始め、市民アンケートやパブリックコメントなどにより、多くの市民の皆様からの意見をお聞きしたところであります。防災面も考慮した具体的な整備内容を検討してまいります。 以上